

## 過去の試験問題例

第1次試験における筆記試験の種目としては専門試験と外国語試験があります。(試験の構成は変わり得る点にご留意ください。)

### 専門試験

専門試験は、与えられた問いについて論述を行うものです。

(問題の例／イメージ)

- 日本の安全保障にとって、冷戦期のソ連の存在と近年の中国の台頭は、どのように類似し、どのように異なるか、両者を比較して論じなさい。
- 日本の「自由で開かれたインド太平洋」構想における日米豪印の安全保障協力(Quad)の位置づけを述べた上で、Quadの可能性と限界について論じなさい。
- 人工知能等の新興技術の発達が軍事や安全保障に与える影響について中長期的な観点から論じなさい。
- サイバー、宇宙、電磁波といった安全保障の新たな領域において抑止は成立するか、冷戦期に成立した抑止の概念との共通点と相違点に留意しながら論じなさい。
- 影響力工作(influence operation)の定義を述べた上で、2016年以降の世界各国での影響力工作対策にはいかなるものがあるか、具体的に論じなさい。
- 安全保障における「インテリジェンス」の定義を整理しなさい。その上で、今日のサイバー空間あるいは認知領域の脅威への対応で「インテリジェンス」の果たす役割・機能を具体的に論じなさい。
- 国家間の経済的相互依存と紛争抑止について論じなさい。
- 防衛装備品の国際共同開発・生産に期待される効果と課題について論じなさい。
- 米中大国間競争の特徴を分析するとともに、受験者が任意で選ぶ国家(地域)の安全保障政策に対する影響について論じなさい。
- 米中関係における台湾問題に関して、その起源から現在に至るまでの歴史的経緯を論じなさい。
- 韓国あるいは北朝鮮(両方でも可)の外交政策決定過程に見られる特徴について、比較政治学の観点から論じなさい。

- 東南アジア諸国のうち1つ以上の例を取り上げ、その国（々）が現在直面する政治・安全保障上の課題を説明し、ASEAN内や日本をはじめとする域外国との協力によってどのように対処しているのか、説明しなさい。
- 中国によるプレゼンスの増大が南アジア地域にもたらすリスクと機会を整理した上で、それに対するインドの対応について論じなさい。
- 近年、欧州諸国がインド太平洋の安全保障への関与を強めている現状と要因について分析し、今後の見通しについて述べなさい。

## 外国語試験

外国語試験の構成は募集区分によって異なることがあります。ここでは英語試験の例をご紹介します。英語試験では、英文の問題文（題材文）を読み、与えられた問いに応じ、英語で題材文の議論を整理したり自身の考えを論じたりする記述式の問題です。

（問題の例／イメージ）

Joseph Leppold, “Is Anyone Listening? International Relations Theory and the Problem of Policy Relevance,” *Political Science Quarterly*, vol. 113, no. 1 (1998)（抜粋）を読み、著者の主張に基づくと、自身の研究がどのように政策に貢献できるかを英語で論じるもの。

Gary King, Robert O. Keohane, and Sidney Verba, *Designing Social Inquiry: Scientific Inference in Qualitative Research*, Princeton University Press, 1994（抜粋）を読み、社会科学と「複雑性」の関係について、関心のある研究分野に結びつけつつ、英語で自身の考えを議論するもの。

Elbridge Colby, “Opinion: Biden’s Global, Muscular Liberalism is an Indefensible Foreign Policy in 2021,” *Washington Post*, March 21, 2021（抜粋）を読み、著者が推奨する外交政策とはいかなるものか、そしてなぜ著者はそのような政策を推奨するのか、英語で説明するもの。

Eliot A. Cohen, “Supreme Command in the 21<sup>st</sup> Century,” *Joint Forces Quarterly*, Issue 31, Summer 2002（抜粋）を読み、著者によれば戦時の文民指導者は軍の指揮官との関係をどのように扱うべきであるのか、英語で説明するもの。